

東京都・大勝彩香さん(小6)ほかからの質問

紫外線が一番多いのは何月



のちゃん お日さまが、まぶしくなってきたね。

藤原先生 これからの季節の太陽にはご用心よ。日焼けしないようにしななちゃ。

のちゃん 太陽の光にある目に見えない紫外線が悪さをするんだよね。真夏がいちばん多いんだよ。

先生 紫外線にはA・B・Cの3種類があって、A紫外線(UVA)が多くなるのは5月よ。1年でもっとも日が長くて太陽も高くなる6月ごろが最大のはずだけど、梅雨でお天気が悪いら、晴れ間の多い5月がピークになるの。

のちゃん へー、真夏より5月にご用心なんだあ。

先生 UVAは地球に届く紫外線の9割を超えていて、肌を黒くしてシミやソバカスのもとになるともいわれているわ。ただ、もっと怖いB紫外線(UVB)は7~8月に多いそうよ。

のちゃん 同じ紫外線なのに、どうしてちがうの？
先生 ふだんUVBは、25%ほど上空にあるオゾンという気体がたくさんあるオゾン層に吸収されて地上にはあまり届かないの。でも、7~8月には吸収される量が減って、地上に届くUVBの量が増えてしまうわ。

ン層が薄くなるの？

先生 いいえ、いちばん薄いのは10月ごろよ。でも、秋は夏にくらべて太陽が空の低いところを通っていて、太陽の光はオゾン層を斜めに横切るの。だからUVBがよりたくさんオゾン層に吸収され、地上に届く量は真夏より少なくなるの。

のちゃん UVAはオゾン層と関係ないの？

先生 UVAはオゾン層で吸収されないから、オゾンが多ても少なくても、地上に届くUVAは変わらないわ。

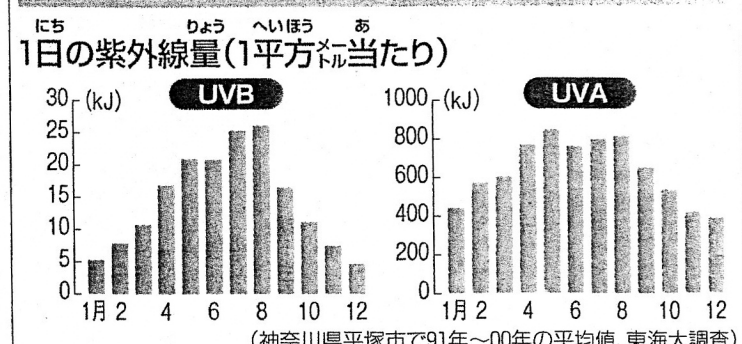
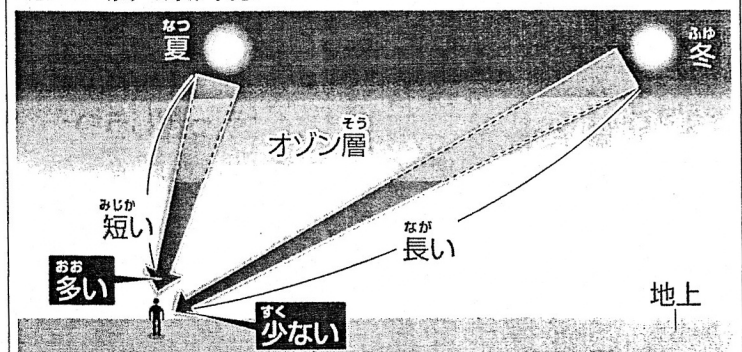
のちゃん AとBと……
あつ、もう一つ忘れてた。

先生 C紫外線(UVC)ね。いちばん危険なのよ。でも、安心してね。オゾン層がぜんぶ吸収してくれるから。

のちゃん じゃあ、UVBに気をつけないとね。

先生 海水浴に行つて、体が真っ赤になったことがあるでしょう。皮膚のDNAがUVBに傷つけられるから、ひどい日焼けを繰り返すと皮膚がんになる恐れがあるわ。オゾン層が1%減ると、地上に届くUVBが2%増え、皮膚がんが3~6%増

地上に届く紫外線



有害な種類は7~8月に多いの

えるという予測もあるのよ。
のちゃん えーっ、お外で遊べなくなっちゃう。

先生 4月から9月の晴れた日は、朝の10時から昼の2時までの間は外で長時間遊ぶのはやめた方がいいでしょうね。真夏の太陽を20~25分間ほど浴びたら注意して。日本人の場合、赤くなった後に黒くなる人が多いけれど、赤くなるだけの人とはとくに気をつけてね。

のちゃん 帽子をかぶらないといけないね。

先生 紫外線は直射日光だけじゃなく、雲や空気の分子にぶつかって飛び散りながら四方八方からやってくるし、地面や建物などからの反射も多いの。日焼け止めクリームを使うのもいいわね。気象庁や国立環境研究所が全国各地の紫外線速報をインターネットで発信しているから参考にするといいわ。

(取材協力) 佐々木政子・東海大学名誉教授、構成 森治文

